



在宅取組紹介 「心を育てる読み聞かせ」

関市立洞戸保育園



「絵本の読み聞かせを日ごろの生活に取り入れ、親子の絆を深めよう」(全家庭対象)

【取組期間】 年間を通して

- 【主催者の願い】
- ・園と家庭が願いを共有して共に読書に親しむことで、子どもの心を豊かに育てたい。
 - ・保護者の方が、無理なく取り組める活動にしたい。
 - ・園の絵本を子どもが選んで持ち帰ることで、園の保育活動を家庭でも理解していただくとともに、家族で共通の話題を広げたい。

【具体的な取組方法】

- ・毎週木曜日に、園児は園で絵本を1冊選び、「絵本ノート」と共に家庭に持ち帰る。
- ・週末にかけて、持ち帰った絵本の読み聞かせを家庭で行い、「絵本ノート」に読み聞かせを行った時間や子どもの様子などを記入する。(読み聞かせを行うのは、父母や祖父母、兄弟姉妹など家族なら誰でもよい。)
- ・月曜日に絵本の返却と共に、「絵本ノート」を園に提出する。保育士は提出された「絵本ノート」にコメントを添える。

☆魅力ある「手づくりの「絵本ノート」



☆「絵本ノート」はA4を2つ折りにした大きさで、年齢(組)ごとに表紙の色が変更されています。

- ・1番上の「借りた日」、2段目の「本の名前」は、貸し出し時に保育士が記入。
- ・3段目以降は、家族が記入。
- ・一番下の「子どもの様子」には、読み聞かせを行った時の子どもの様子を家族が記入し、保育士によってコメントが添えられます。

借りた日	6月3日
本の名前	ぼくらはいつかカエル
返した日	6/7日
読んだ回数	2回
読んだ時	朝 帰ってから (夜) 寝る時 その他 ()
読んだ人	父 母 (祖父母) その他 ()
子どもの様子	ぼくのマークにカエルは カエルだよと言って 真剣に話を聞いて いました。 部屋の壁面にもカエルと作って カエルはカエルと書いて います!